

大日靈神社

洋野町大野の明戸地区にある『大日靈(おおひるめ)神社』。

県道 11 号を大野庁舎方面に向かう途中、左手に鳥居が見えます。



鳥居を抜けると川を渡る赤い橋の先に小さな山が！
この地区の人は「向かい山」と呼ぶそうです。この山の上に神社があります。

この神社にまつられているのは『天照大御神』
(あまてらすおおみかみ)です。

日本の神道における最高神で、天皇の祖である皇祖神ともされています。

この神社は、『坂上田村麻呂』もまつっていて、「坂上田村麻呂」が使っていた槍が奉納されていたとか。



境内にはいくつもの社や祠が！





『伊邪那美命』(いざなみのみこと)が死後、黄泉国(よもつくに)で生んだ『鳴雷』(なるいかづち)をまつる『鳴雷神社』。

黄泉国で『伊邪那美命』の死後の姿を見てしまった『伊邪那岐命』(いざなぎのみこと)が、穢(けが)れを落とす禊(みそ)ぎのため水で顔を洗ったときに生まれた『天照大御神』をまつる『大日靈神社』。



『伊邪那岐命』と『伊邪那美命』は日本の島々と多くの神を生んだ夫婦神ですが、『伊邪那美命』が命を落としたことをきっかけに、それぞれが単独で生んだ二柱の神。

その神をまつる2つの神社が、同じ地域にあるって、なんだか面白いですね！



<大日靈神社の言い伝え>

本堂の中に金色の観音像がまつられているのだが、昭和初期に一度売り払われてしまった。

観音像がなくなり、しばらくたったある夏の夜。蛍とりをしていた子供が、蛍とは違う光るものが飛んでいくのを見た。

間もなく大日靈神社の方から大きな音がした。翌朝、その音を聞いていた近所の老人が、誰か神社で悪戯をしたのではないかと思い行ってみると、お堂の後ろに穴が開いていた。罰当たりなことをする者がいるものだと、恐る恐るお堂を開けて見たところ、売り払われたはずの観音像が戻っていたという。